

夢タウン まつぶし

議会だより

第121号

令和5年4月26日発行

3月定例会・2月臨時会

〈主な内容〉

- 令和5年度当初予算 …………… 2～3P
- 議案審議・補正予算 …………… 4～5P
- 2月臨時会 …………… 6P
- 委員会報告 …………… 7P
- 意見書・主な議案の採決 …………… 8P
- 9人の議員が町政を問う …………… 9～13P

小学校のタブレットを活用した授業

令和5年度 一般会計予算

87億8,800万円

(前年度比 2億4,700万円の減)

「各世代が笑顔あふれるまちづくり」の実現に向けて、7つの分野で事業展開

1. 子育て支援分野

19億4,056万円 (前年度比 1億334万円増)

～未来を担う子どもたちが健やかに育つまちづくり～

主な取組

・子ども・子育て支援事業計画策定事業 (新規)	230万円
・幼児保育事業	6億3,520万円
・出産応援給付事業	1,450万円
・子育て応援給付事業	1,450万円
・学校給食センター設備改修工事設計事業	440万円

令和7年度を始期とする新たな「子ども・子育て支援事業計画」の策定に着手し、安心して子育てできる環境を整備する。また、出産応援・子育て応援として、妊娠届出や出生届出を行った方に各5万円を給付する。

2. 健康・福祉・社会保障分野

21億1,528万円 (前年度比3,586万円増)

～健康で生きがいをもって暮らせるまちづくり～

主な取組

・障がい福祉計画策定事業 (新規)	200万円
・介護給付・訓練等給付事業	5億5,168万円
・高齢者タクシー等利用助成事業	960万円
・保健センター建設設計事業	300万円

「第7期障がい福祉計画」「第3期障がい児福祉計画」の策定に着手し、障がい福祉サービスの充実を図る。また、75歳以上の高齢者の方へのタクシー利用料金の助成について、利用額を増額する。保健センターの建設に向け令和5年度は「基本設計」に着手し、令和8年度のオープンを目指す。

3. 人権・男女共同・地域コミュニティ分野

2億511万円 (前年度比 △826万円)

～町民主体の地域コミュニティ豊かなまちづくり～

主な取組

・外前野記念会館施設・駐車場整備工事事業	2,000万円
・町史編さん事業	1,347万円
・松伏町スポーツ推進奨励金事業 (新規)	13万円
・中央公民館空調整備改修工事関連事業	2億3,790万円

令和5年度の町史編さんは、「文化財編 石造物・絵馬・指定文化財」の刊行を進める。生涯スポーツ活動の更なる活躍を応援するため、スポーツ推進奨励金の交付を行う。

4. 産業振興分野

1億3,054万円 (前年度比 4,128万円増)

～活気あふれるにぎわいのまちづくり～

主な取組

・農業基盤整備工事事業	2,380万円
・揚水機場設備更新工事事業 (新規)	993万円
・農村トレーニングセンター施設・駐車場整備工事事業	921万円
・カレーのまち推進事業	1,467万円

下赤岩地内用水路の改修、寺前揚水機場のポンプの更新を行い、農業用水供給の改善に努める。5周年を迎えるカレーのまちづくりを、商工会と町内の協力飲食店と連携し、推進する。農村トレーニングセンターに隣接する駐車場を舗装し、更なる利便性の向上を図る。

5. 生活基盤整備分野

4億8,325万円（前年度比 △6,681万円）

～利便性の高い快適空間のまちづくり～

主な
取組

・道路照明灯整備工事業（新規）	1,000万円
・橋りょう撤去工事業（新規）	5,000万円
・町道拡幅整備工事業	1億2,927万円
・公園施設等照明改修工事業（新規）	2,516万円
・買い物支援事業補助金事業	88万円

町道2号線等の舗装改修工事、町道3号線を拡幅し歩道を整備する。老朽化した松伏第二歩道橋を撤去する。また、町内都市公園の照明をLED化し、施設の利便性の向上と省エネルギーの推進を図る。買い物に行くのが困難な高齢者を対象とした買い物支援サービスについても、実施回数・巡回場所の増加を検討し、利便性の向上に努める。

6. 生活環境分野

9億5,478万円（前年度比 △2億4,170万円）

～安全・安心な暮らしのできるまちづくり～

主な
取組

・ごみ処理事業	2億7,569万円
・安全・安心のための災害対策事業	716万円
・リサイクルセンター維持管理事業	8,994万円
・詐欺防止機器購入補助事業（新規）	100万円

防災訓練と並行して、新たに避難所の開設訓練を実施する。高齢者の方の詐欺被害防止を目的に、録音機能付電話機の購入補助を行う。

7. 行財政運営分野

12億60万円（前年度比 △1億3,899万円）

～効率的で質の高い町政運営を進めるまちづくり～

主な
取組

・マイナポイントサポート事業（新規）	1,320万円
・第6次総合振興計画策定事業	380万円

マイナンバーカードの普及促進を図る。デジタル技術により解決する地域社会の実現に向け、自治体DXを推進し、住民の利便性向上及び職員の業務効率化を図る。シティブロモーション事業を積極的に進め、町の魅力を町内外へ発信する。10年後の松伏町の新たな将来像を掲げ、その実現に向け、進むべき方向性を定めるため、「松伏町第6次総合振興計画」の策定を進める。

討論（一般会計）

賛成
(原案)

国は「こども家庭庁」を設置し、こども基本法に沿ったこども政策が推進される。すべての家庭が安心して子育てできる環境の整備を望む。住民要望の多い公共交通対策を重点課題として取組むよう強く要望する。令和5年度は、第5次総合振興計画の最終年度として、町民の笑顔があふれ、住んでよかった、住み続けたいと思えるまちづくりを推進することに期待する。

保健センターの建て替え事業は、国の交付金を活用した取組として、立地適正化計画を策定し、町に有利な条件を考え進めることを評価する。災害対策では、新たに地域安全室長を配置し、自主防災組織に対し実践多岐な避難所開設訓練を行うことを評価する。令和5年度から、発達障がい・情緒障がい通級指導教室を松伏第二小学校に開設し対応にあたることを評価する。

新型コロナウイルス感染症であるワクチン接種については、近隣市町で一番早く接種が開始され、町長及び職員のスピード感のあった対応に感謝する。教育については、他の市町村ではあり得ない予算を配分している。学力向上は本町の課題であり、令和5年度は素晴らしい結果を持たらすことを期待する。公共交通については、期限内に地域公共交通計画の作成・提出されることを期待する。

反対
(原案)

近年の物価高騰の中で、地方消費税交付金の増額が予想される。それを踏まえて予算化されていないことに大きな問題があると指摘する。町の施策での不満点・充実させてほしい点のトップは、交通政策であるが、令和5年度の予算に組み込まれていない。町全体の課題として、埼玉資源環境組合の分担金、小児夜間救急医療の分担金などに課題がある。

主な議案の質疑

■松伏町企業版ふるさと納税基金条例

問 企業版ふるさと納税基金条例を整備するに至った経緯は。

答 頂いた寄附金は原則その受領した年度に事業費に充てるとのこととなっている。しかし、この基金を設置することで、町は翌年度以降の新規事業あるいは複数年にわたる事業に充てるなど柔軟かつ効率的に活用することが可能となり、企業には寄付しやすい環境が整う。

■松伏町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

問 改正内容の説明、該当する職員数、町の負担額の削減額はどうか。

答 町職員が所有する自宅に係る住居手当のみを廃止する改正。該当者は、合計で約80名、影響額としては約500万円となる。町職員への周知が必要なことから、実施は令和6年4月からとする。

■町道3号線道路改築工事（2工区）請負契約の変更契約の締結について

1.変更内容

履行期限

変更前	変更後
令和5年3月31日	令和5年12月28日

2.変更理由

町道3号線道路改築工事（2工区）において、一部用地の取得に不測の日数を要したこと及び電柱移設に不測の日数を要するため、履行期限を延長するもの。

問 4月から8月まで休工期間となるとの説明があったが、その間、請負業者は、何らかの経費が発生しないのか。その費用は町が負担するのか。

答 町道3号線道路改築工事第2工区は、道路拡幅に伴う水路工事が水田の取水時期までに完了しない可能性があることから、4月から8月までの間、工事の休工も検討しなければならない。休工中においても、材料置場としての敷地の借用に要する費用や、敷き鉄板などの仮設費の賃料など工事現場の維持に要する費用が見込まれ、発注者が負担する規定となっている。今後の状況により工事中止の措置を行った場合は、受注者と協議の上、適切な手続を行い、設計変更の対応をしたい。

令和4年度松伏町一般会計補正予算（第8号）

1億7,198万7,000円の増額（年度総額112億1,182万7,000円）

〈主な歳出〉	外前野記念会館費	2,000万円
	保育所賄材料費・私立保育所副食材料費	198万円
	障がい者・高齢者光熱費高騰対策支援	998.4万円
	農村トレーニングセンター施設・駐車場整備工事費	920.6万円

主な質疑

問 外前野記念会館費の工事の内容と工事期間を聞く。

答 工事の内容は、1点目は内装改修工事、2点目は照明器具取替え工事、3点目は駐車場舗装新設工事。工事期間は、工事の請負業者が決定次第、早急に調整を図るが、現時点の想定ではおおむね5月から7月までの一般利用は難しいと考えている。

問 町立第一保育所の賄材料費、私立保育所等副食材料費高騰対策支援金の積算根拠を聞く。

答 学校給食材料購入費の高騰分単価と同額の1人当たり1日14円、食材高騰相当額として、各保育園、認定こども園の令和5年1月1日現在の人数を基に12か月分及び上昇率を見込んで積算している。

問 障がい者施設光熱費等高騰対策支援事業と高齢者施設等光熱費等高騰対策支援事業の内容と積算根拠について聞く。

答 町内の介護事業所及び障がいの事業所、入所、通所、両方の事業所のうち、主に入浴系のサービスをする事業所について単独で補助を始めた。入所系の施設は県の補助に追加する形で1人当たり2万1,000円、通所系の事業所は、1事業所当たり18万円を追加して助成をする形で今回計上している。

問 農村トレーニングセンター施設・駐車場整備工事費の内容を聞く。

答 農村トレーニングセンターは、経年劣化が著しいため、一部外壁のサッシの不具合を修繕し、外壁の塗装修繕を全面的に行う。あわせて、当センターと北部サービスセンターとの間の砂利敷きの駐車場の舗装整備を行うもの。

令和5年度松伏町一般会計補正予算（第1号）

5,709万5,000円の増額（年度総額88億4,509万5,000円）

〈主な歳出〉	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業	2,481万円
	小学校消防設備修繕料	381.5万円
	中学校消防設備修繕料	305.3万円
	中学校音楽活動応援備品購入費	520万円

臨時会

2月7日に開催されました。

町長から提出された議案は2件、すべて可決されました。

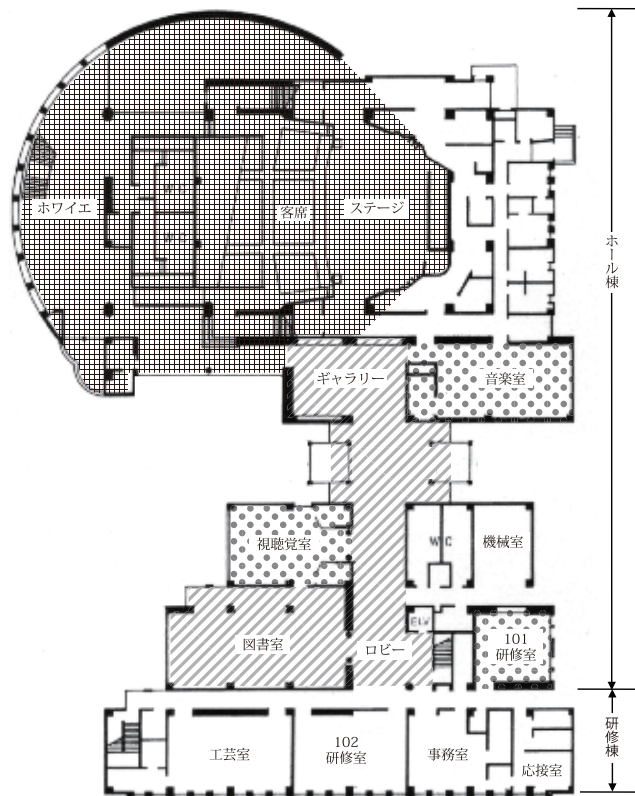
●中央公民館空調設備改修工事 請負契約の締結について

請負業者 株式会社 協和設備
請負金額 2億722万6,800円

主な質疑

問 内容の説明、スケジュールは。

答 工事の内容は、中央公民館の研修棟を除くホール棟、ホールの中のステージ、客席、ホワイエ、ギャラリー、音楽室、エントランス、視聴覚室、図書室、101研修室の空調設備の改修をするもの。2月、3月は現場調査や発注事務が予定されている。4月以降に順次工事をして、11月頃には試運転ができると考えている。



1階平面図

大規模エリア ヒートポンプ(ガス式)	中規模エリア ヒートポンプ(電気式)	小規模エリア ヒートポンプ(電気式)
-----------------------	-----------------------	-----------------------

●令和4年度松伏町一般会計補正予算（第7号） 2,497万1,000円

出産応援給付金及び子育て応援給付金の計上に伴い、予算の補正をするもの

主な質疑

問 本事業の補正予算による対象期間は、令和4年4月から令和5年9月までに妊娠、出産した対象者に妊娠届出時、出産届出時に申請受付後支給される。令和4年4月以降に既に出産した対象者に対する想定パターンごとに申請及び支給について説明を求める。

答 ①令和4年4月以前に妊娠届を提出し、令和4年4月以降に出産届出をした方は、出産応援給付金と子育て応援給付金の申請書を送付、受付後2つ合わせて給付。
②令和4年4月以降に妊娠届を提出し、令和4年4月以降に出産届出をした方は、同じく申請書を送付、受付後2つ合わせて給付。
③令和4年4月以降に妊娠届を提出し、まだ出産していない方は、出産応援給付金の申請受付後、はじめに出産応援給付金の支給となり子育て応援給付金は出産後に、出産届後に申請書を提出し給付となる。

委員会報告 見る・聞く・動く

総務産業常任委員会

松伏第二歩道橋は令和5年度に撤去工事を発注

総務産業常任委員会は、2月9日、町内インフラの管理の実態について、並びに町道の実態調査とその後の対応についての所管事務調査を行った。

橋梁長寿命化修繕計画は、国から補助をいただき町の財政を平準化する目的もある。計画では松伏第二歩道橋は、補修工事を実施する予定であったが、損傷が進行し健全性の区分がⅣとなり通行止めとした。その後、修繕工事が困難と判断し、撤去する方針とした。令和4年度、撤去に向けて設計を実施しており、令和5年度には撤去工事の発注を行うとの説明を受けた。

文教民生常任委員会

地域包括支援センターの現状と課題の調査

文教民生常任委員会は、1月24日に地域包括支援センターの所管事務調査を行った。町との情報共有、町の支援体制、民生委員・社会福祉協議会との連携、地域ケア会議の実施状況など、センターの現状と課題について調査を行った。松伏町は毎年約500人が75歳になっている。団塊の世代が全員75歳以上になる年（2025年問題）に向けた、地域包括支援センターの増設は令和6年度開設予定で動いているとの説明を受けた。

議会改善改革特別委員会

令和5年1月20日、2月20日の議会改善改革特別委員会における協議の結果は次のとおり。

住民とのコミュニケーション

議会だよりの紙面増（年2回）



予算・決算審議のある3月・9月定例会の議会だよりのページ数を増加。より多くの情報を掲載できるようになり、住民とのコミュニケーションを推進する。

審議資料作成の効率化

PC・タブレット等の持ち込み



議場へのPC・タブレット等の持ち込みを試行。将来的な審議資料作成における執行部の負担軽減、社会のペーパーレス化の方向性に、議会として進めていく。

意見書

※意見書の要旨等については、町議会ホームページに掲載しています。

- アスベスト被害を抑える対策の強化を求める意見書
可決
- 带状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める意見書
可決
- 認知症の人も家族も安心な社会の構築を求める意見書
可決
- 保育士の配置基準の見直し及び処遇改善を求める意見書
可決
- 防衛予算の倍増を決定した政府方針の撤回を求める意見書
否決

3月定例会の主な議案の採決		議員名											採決結果		
件名	議案名	佐藤 永子(自)	長谷川 真也(未)	増田 秀雄(未)	福井 和義(チ)	吉田 俊一(共)	田口 義博(自)	高橋 昭男(自)	高野 祐大(チ)	平野 千穂(共)	砂川 清時(自)	松岡 高志(無)		村上 真由美(公)	川上 力(公)
【町長提出】															
議案第3号	松伏町企業版ふるさと納税基金条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第5号	松伏町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第6号	松伏町国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第7号	松伏町学童保育の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第8号	町道3号線道路改築工事(2工区)請負契約の変更契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第10号	令和4年度松伏町一般会計補正予算(第8号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第11号	令和4年度松伏町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第12号	令和4年度松伏町農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第13号	令和4年度松伏町下水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第14号	令和5年度松伏町一般会計予算	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第15号	令和5年度松伏町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第16号	令和5年度松伏町農業集落排水事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第17号	令和5年度松伏町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第18号	令和5年度松伏町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第19号	令和5年度松伏町下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第20号	令和5年度松伏町一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
【議員提出】															
発議第1号	アスベスト被害を抑える対策の強化を求める意見書	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議第2号	带状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める意見書	◎	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議第3号	認知症の人も家族も安心な社会の構築を求める意見書	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議第4号	保育士の配置基準の見直し及び処遇改善を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	可決
発議第5号	防衛予算の倍増を決定した政府方針の撤回を求める意見書	●	●	●	●	◎	●	●	●	○	●	●	●	●	否決

(○ = 賛成、● = 反対、◎ = 提出者)

(会派名) 自 = 自民クラブ、未 = 未来クラブ、公 = 公明党、共 = 日本共産党、チ = チェンジ松伏・無所属クラブ、無 = 無所属町民会議

町政に関する

一般質問の主題

一般質問の会議録全文は
町のホームページから検索できます

村上 真由美

- 若年がん患者への在宅療養への支援
- マイナンバーカード等を活用した「書かない窓口」
- 高齢者などのごみ出し困難世帯への支援

川上 カ

- 奨学金返還支援で、若者が住みやすく、働きやすい町に
- 子育て家庭に寄り添った支援
- 認知症伴走型支援事業の積極的活用

福井 和義

- 町を活性化させる地域公共交通

増田 秀雄

- 県営まつぶし緑の丘公園の整備
- 松伏町史の刊行
- 偉人マンガ

砂川 清時

- 地区別町民懇話会
- 町内イベント開催

松岡 高志

- 子どもたちの読解力向上
- 学校図書館の充実
- 大規模災害時の町役場の業務継続計画

高野 祐大

- アジャイル型政策形成の推進と無謬性行政からの脱却
- 自動運転専用道路と新たな交通システム（BRT）の導入

平野 千穂

- 保健センターの建て替え
- 会計年度任用職員の不安定な雇用形態や正規職員との処遇格差の是正
- パートナーシップ・ファミリーシップ届出制度
- 保育園からおむつの持ち帰りをなくす取り組み

吉田 俊一

- 学校給食費の無償化を
- 町から転出された方へのアンケート結果
- 地域公共交通政策の理念と手法

9人の議員が町政を問う



むらかみ まゆみ
村上 真由美（公明党）

Q 見守りを含めたごみ出し支援を

A 新たな取り組みが必要と認識

問 環境省の手引きによると、ごみ出しの支援として地域団体等有償で支援するものや、社会福祉協議会による有償ボランティアの支援が例示されている。高齢者などごみ出しが困難な世帯へ、見守りを含めたごみ出し支援が出来ないか。

答 **いきいき福祉課長** 今後ごみ出しが困難となる高齢者が増加していく中で新たな取り組みの導入が必要であると認識している。ステーション収集を原則としたサポート体制づくりが望ましいのか、個別収集によることが望ましいのかについても調査研究の必要があり、関係課と調整しながら進めていきたい。

問 松伏町としても若年がん患者（20～39歳）への在宅療養支援制度を作れないのか。

答 **すこやか子育て課長** 千葉県では、在宅療養支援事業を令和5年度から導入予定。埼玉県で導入できれば近隣市町の動向を注視していく。

問 町でも伊奈町のように補助金を活用し、利用者職員双方にメリットがある「書かない窓口」を推進できないのか。

答 **企画財政課長** 「書かない窓口」のような町民サービスの向上のため有用なデジタル技術の導入について引き続き検討し、デジタル田園都市国家構想推進交付金の活用も検討していく。





かわかみ つとむ
川上 力 (公明党)

Q 松伏町でも奨学金返還支援制度を

A 青年への支援として今後検討する

問 奨学金返済で苦しむ若い世代が利用できる埼玉県中小企業等奨学金返還支援事業補助金が始まった。制度周知に町は積極的に取り組むべきではないか。

答 **環境経済課長** 町ホームページや広報等で周知するとともに、県と情報共有を図り、町商工会と連携し、どのような取組みができるのか検討していく。

問 若者が住みやすく、働きやすい町に、毛呂山町の未来応援奨学金返還支援補助金のような、奨学金返還支援制度を松伏町でも導入できないのか。

答 **町長** 私が目標とする各世代が笑顔あふれるというなかで、青年への支援として今後検討していく。

問 保育園での使用済みのおむつの持ち帰りについて、子育てを応援するという観点から持ち帰りをなくし、町でも保育園で処分するようにできないのか。

答 **すこやか子育て課長** 今後、できるだけ早い時期

に使用済みおむつが園で処分できるよう各保育所、認定こども園と調整を行っていく。

問 地域包括支援センターとは別の認知症伴走型支援拠点の整備に、社会福祉協議会の活用なども含め、各施設へ正式な打診は行えないのか。

答 **いきいき福祉課長** それぞれの施設に対し意向調査などを継続的に実施するとともに、社会福祉協議会で対応可能なメニューが創設できないか、継続的に協議していく。



おむつは保育所等で処分へ、持ち帰りがなしに



ふくい かずよし
福井 和義 (チェンジ松伏・無所属クラブ)

Q 地域公共交通計画を期限内に提出

A 有利な補助金があれば提出する

問 地域公共交通の利用者が減少しているのので、町は先頭に立って、持続可能な公共交通ネットワーク化を実現するための枠組みを整備して、地域公共交通計画を作成しなければならない。なぜならば、地域公共交通の役割は、1.地域住民の移動の確保。2.諸機能が集結した拠点同士、拠点と住民エリアを結ぶ交通手段。3.外出機会の増加によるにぎわいの創出や、健康増進である。町は地域公共交通計画を作成して、公共交通を充実させる考えはあるのか。

答 **企画財政課長** 地域公共交通計画については、令和5年度、公共交通事業者と懇話会を実施して、現在の町の公共交通の現状を把握したい。その上で、必要に応じて、地域公共交通計画の策定を検討していく。

問 国から財政的な支援を受けるには、地域公共交通計画を作成し、令和6年10月までに提出しなければならない。町長は期限内に提出できるのか。

答 **町長** 今年度、バス会社2社、タクシー会社2社の方々を集まってもらい、北部地区の交通手段の問題、特に買物支援等について話し合いをする。そして、地域公共交通については、国のほうから有利な補助金があるならば、その補助金を確保できるように進める。



町を活性化させる地域公共交通



ますだ ひでお
増田 秀雄 (未来クラブ)

Q 緑の丘公園西側道路の整備状況は

A 関係機関と、協議を行っている

問 緑の丘公園西側道路の整備状況について
答 **新市街地整備課長** 西側道路の整備状況は、延長約530メートルのうち南側の延長約370メートル、約3分の2が整備済みである。残り約3分の1の区間については、公園整備を所管する大宮公園事務所に確認をしたところ、令和4年度は野田岩槻線と西側道路が交差する交差点部分について埼玉県警察と交差点協議を行うための準備を進めているとのことである。

ダイジェスト版」の刊行を行い、全9巻で終了となる予定。

問 偉人マンガの内容と現在の進捗状況について
答 **教育文化振興課長** 内容は、松伏町出身、日本で初めてカレー粉の国内製造に成功した山崎峯次郎氏の半生をまとめたもの。「山崎峯次郎物語～カレーの夢を陣追って～」と題した。進捗状況は、3月中旬以降に納品となる見込みである。

問 松伏町史の刊行状況と今後の計画について
答 **教育文化振興課長** 松伏町史は、町の歴史と文化を後世に継承し、将来の郷土づくりに資するため、刊行を進め、「民俗編」から「通史編ダイジェスト版」まで、全9巻を刊行する計画である。今年度は6巻目の「資料編近代・現代」を刊行し、令和5年度に7巻目の「文化財編 石造物・絵馬・指定文化財」、令和6年度に8巻目の「通史編」、令和7年度に9巻目となる「通史編



早期の整備が待たれる町道587号線



すながわ きよとき
砂川 清時 (自民クラブ)

Q 地区別町民懇話会の町の評価は

A 新たな総合振興計画に活かす

問 地区別町民懇話会実施における町の評価は。
答 **企画財政課長** 町民の皆様から、直接、貴重な生の声を聴き、大きな成果があった。町民の皆様と共有できる新たな総合振興計画の策定に活かす。

問 土地利用検討エリアについて問う。
答 **新市街地整備課長** 指定したエリアとして、東埼玉道路沿道の北側の大川戸地区と南側の赤岩地区、浦和野田線西側の長宮地区の3エリア（図参照）。税金の確保や乱開発防止の観点から、エリアを指定した。

問 交通対策の進め方について問う。
答 **企画財政課長** 現在の公共交通を維持していくことが重要な課題の1つである。町民の皆様からのご指摘を踏まえ、有用な地域公共交通のあり方について、調査等を実施することも検討する。

問 町内イベント開催について問う。
答 **すこやか子育て課長** 各イベントの担当課が開催時期等の状況により個別に判断し開催していく。

問 町独自の子育て支援について問う。
答 **すこやか子育て課長** 令和7年度を始期とする子ども・子育て支援事業計画を策定していく中で、町民のニーズ調査を行い、国や県が行う子育て支援の他に、新しい町独自の子育て支援の取り組みとして実施できる事業を調査研究し、充実した子育て支援を考える。





まつおか
松岡

たかし
高志

(無所属町民会議)

Q 子どもたちの読解力の向上を

A 授業改善と読書活動の推進をする

問 全国と埼玉県学力・学習状況調査結果から、子どもたちの最重要課題は国語力の読解力向上であると考え。町の見解を問う。

答 **教育総務課長** 国語力の向上にあたっては、国語の授業の充実はもとより、教科横断的な視点で取り組む必要がある。具体策として、1点目は、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善。2点目は、多様な子供たちに有効的な支援を取り入れた授業改善。3点目は、タブレットを活用した家庭学習の充実。4点目は、小中連携による系統的な学びの推進。教育委員会としては、令和5年度より、校長会や教頭会、校内研修の指導の場を活用し、この視点を町内の共通指導事項として取り組み、国語力の向上に努めていく。

問 災害時、役場の業務継続計画の実効性を高めるために、どのような訓練を行っているのか。

答 **総務課長** 町では毎年、松伏町職員非常参集訓練、災害対策本部運営訓練及び職員災害対応研修

において、避難所開設訓練を実施している。今年度改善した点としては、例年2か所で実施していた避難所開設訓練を、町内にある避難所全16か所を開設することを想定して訓練を実施したところである。こういった内容を継続的に実施することで、職員の意識と対応能力の向上に努めていきたいと考えている。



災害対策本部機能の代替施設「松伏町防災備蓄センター」



たかの
高野

まさひろ
祐大

(チェンジ松伏・無所属クラブ)

Q BRT導入による町への効果は

A バス利用者などの利便性が向上

問 新たな交通の南北軸となる東埼玉道路の整備が進められている。埼玉県と東部地域6市1町は、自動運転専用道路の整備と新たな交通システムの導入及び道路整備に関して、国へ要望を行った。松伏町として自動運転専用道路の整備と新たな交通システムの導入への期待は。

答 **新市街地整備課長** 国への要望内容については、東埼玉道路での自動運転専用道路の整備及びバス高速輸送システム(BRT)などの新たな交通システムの導入とパークアンドライドの実施について。これらが実現することで、東埼玉道路周辺のバス利用者や、各地域の産業団地に通勤するバス利用者が、渋滞の影響を受けることなく利用できるなどの利便性の向上、災害時に消防や救急等の緊急車両用道路として活用できる。パークアンドライドの実施により、来訪者が周辺施設への移動が容易になり、地域経済の活性化がなされると、様々な効果が期待されると考えている。

問 この要望において、松伏町の道の駅の位置づけは。

答 **新市街地整備課長** この要望内容が実現される場合、松伏町の道の駅がレイクタウン、八潮市をつなぐ路線の発着点となり、人々の流れが、さらに変わることが予想され、バスターミナルを併設した道の駅の重要度が一層上がると認識している。



出典：埼玉県「自動運転専用道路の整備と新たな交通システムの導入及び道路整備に関する要望について」



ひらの ちほ
平野 千穂 (日本共産党)

Q 保健センターの建て替え内容は

A 2階建てにし大幅な機能強化

問 保健センターの建て替えについて

答 **すこやか子育て課長** 現在、保健センターの母子事業の業務と密接な関係がある子育て世帯包括支援センターを保健センター内に設置しており、新しい保健センターが建設されても、この機能は維持する予定。令和5年度は設計業務委託料を計上し、令和4年度で策定した基本計画をより具体化した設計を実施していく予定。健康診査は1階で実施し、精神保健の分野などプライバシーが守られる個別の相談室の整備、診察室等は5つの部屋を用意するなど、大幅な機能強化となる。現在の平屋建てから2階建てとする計画なので水害時の垂直避難などにも対応できるものと考えている。

している。今後、どのように対応するのか。

答 **すこやか子育て課長** 町内の保育所等5施設のうち4施設が持ち帰りを実施しているが、近隣市はほぼ全ての園で処分を実施していた。厚生労働省の通知を受け、当町も令和5年度のできるだけ早い時期に、使用済みおむつが園で処分できるよう、各保育所、認定こども園と調整を行っている。



令和8年に建て替えが予定されている保健センター

問 保育園から使用済みおむつを持ち帰ることは、保護者にとっては負担で不衛生であり、保育士にとっても園児ごとに仕分ける業務負担が問題視されてきた。厚生労働省は、保育所等において使用済みおむつの処分を行うことを推奨する通知を出



よしだ しゅんいち
吉田 俊一 (日本共産党)

Q 給食費無償化のため働きかけを

A 町村長会で働きかけている

問 学校給食費の完全無償化を実施するには、約9,800万円の予算が必要なことが12月議会では示された。財政面での工夫や課題があると考えている。埼玉県内や群馬県内で取組まれている事例でも、部分的、段階的な取組まれている事例も多い。①中学生を対象に実施 ②第1子から実施、第2子からの実施、第3子から実施 ③毎日の献立にある牛乳代金の助成などがある。松伏町で実施した場合に、それぞれ予算はどのくらい必要か。

なっているように思う」と答弁したが、今後、県や国に働きかけて行く考えはあるのか。

答 **町長** 2月15日に首長を集めた、県予算の会議があり、その場でも、給食について発言（私ではありませんが）があり、「埼玉県に給食の補助金をだすように」「国にもそれを働きかけてください」と意見が出されている。国会議員にも伝わるように申出していきたい。

答 **教育総務課長** ①中学生だけを無償化した場合、約4,000万円②小中学校に在籍する児童・生徒を対象にした場合で、第1子から実施する場合は約9,800万円。第2子からでは約2,600万円。第3子からでは約500万円③小学校では約1,300万円、中学校では約700万円。合計で約2,000万円です。

坂戸市は、学校給食費の無償化へ

(令和5年度、市長施政方針から抜粋)

次に、小・中学生の子どもを持つ保護者への経済支援といたしましては、家計の負担を軽減するため、小中学校の給食費を、物価高騰分を含めて全額無償化いたします。

※松伏町では、物価高騰対策として、令和4年度に続き、令和5年度も学校給食などに助成予算を組んでいます。

問 町長は「少子化対策として国が保障する時代に



3月定例会・傍聴者数			
2月27日	2名	3月13日	1名
3月1日	3名	3月14日	1名
3月2日	11名	3月16日	1名
3月7日	1名	3月20日	1名
3月9日	1名		
合計		22名	

傍聴者の声

(抜粋です)

- 在宅医療について。介護予防柏モデルの実践励行、実現。
 - ①いつまでも元気で活躍できる（生きがい就労、健康増進）
 - ②いつまでも安心して在宅で暮らせる医療、介護システム。
 - ③安心安全な暮らしを可能にするまち、家。
- 一次予防に重点をおいた健康づくりが何より大切である。例えば先般男の健康体操でラダーによるステップを実施したが、これは脳と下肢（脚）との連携により運動神経の強化を図るもの。シニアにとってはブレーキ操作など車の運転や車の免許更新時の実習に役立つ。

TOPICS 町の話

江戸時代の伝統を継承する和術・居合術！



約400年前に創始された武芸「長谷川流保存会」 毎週日曜日9時から11時 松伏高校柔道場

【編集後記】 増田 秀雄

和を以て貴しとなす。日本にはこのようなどても良い言葉があります。しかしながら歴史を見るとこの精神は日本人も含め、世界には浸透していないように思えます。今も世界ではウクライナやミャンマーなどで戦争や紛争が続いています。誰もが平和が大切と言いますが、現実は皆さんのご存知の通り。どうしたら平和な世界を築けるのでしょうか。今こそ人類の英知を結集すべき時です。平和な世界の実現が永遠の課題にならないように。

- 議 長 増田 等
- 議会広報発行特別委員会
- 委員 長 高橋 昭男
- 副委員長 松岡 高志
- 委 員 平野 千穂
- 委 員 増田 秀雄
- 委 員 砂川 清時
- 委 員 村上 真由美
- 委 員 高野 祐大